

編集後記… 【酔醒漫筆】

平成 18 年は丙戌（へい・ジュツ）の年です。干支ではどんな年になるのか。向こう一年の運勢の動きの大体を知ること、この一年の行動指針とするのもいいでしょう。／「丙」は十干（じゅっかん）の第三番目に位置しますから、陽気が一段とはっきり進展することを示しています。一方「戌」は「茂」と同義語ですので、繁茂する様を現わしています。しかし、枝葉が成長繁茂し過ぎますと、かえって日当たりと風通しが悪くなり、末（うら）枯れてきますので、枝葉末節を刈り取らなければなりません。すなわち、丙戌（ひのえ・いぬ）の年は、順調な繁盛のなかにあっても煩雑なものを切り取り、簡易化してゆくという戌削的変革を求められている一年といえそうです。／うちなびく たむけのぬさも ふりはえて こうごうしくも みゆるみず垣…（菅江真澄）この歌は、元旦に善知鳥神社でおみくじを引いたときのものです。／年頭にあたり、会報を愛読して下さる誌友の皆様の、ますますの活躍と大いなるご清福を心よりお祈り申し上げます。（パウワウおじさん）